令和四年十月二日執行

柳川市議会議員一般選挙

選挙公報

柳川市選挙管理委員会

現場に足を運び、現場の声を聞き
議会市政に届けます

しんがい
信次郎
しんじろう

プロフィール

１９５４年生まれ６８歳
１９７０年蒲池中学校卒業
１９７３年伝習館高校卒業
１９８０年福岡教育大学卒業
１９８２年福岡市立千代中学校をスタートに柳城、三潴、城島、昭代中学校で国語教諭として勤務
２０１５年３月昭代中学校定年退職　４月三橋中学校再任用
２０１８年７月退職
２０１８年９月３０日柳川市議会議員初当選
議会広報編集特別委員会委員長
教育民生常任委員会副委員長
モットー「ピンチに学べ、
ピンチをチャンスに」

一期４年間全議会で一般質問！

全議会のお便り「もやい」を

自転車で一軒一軒届ける！

一部過疎指定、小中再編　危機的な柳川市の現状、未来について真剣な議論ができる議会を！

しんがい信次郎　全力で目指します
○子育て最適の町　子育て世代の移住定住
○農業漁業企業の担い手育成
○教えて安心学んで安心の学校
○すべての子どもの人権学習権を守る教育

佐々木創主
ささきそうしゅ
63歳

柳川はいま何をすべきか。

柳川市は、新市誕生から17年の間に、人口は7万7千人から6万3千人と1万4千人減少し、高齢化率は30％を超えました。

これまで多くの投資事業を行ってきました。更にこれから柳川駅前川下り乗船場、400ｍトラックの陸上グランドなどの建設をしようとしています。

対して、老朽化した多くの公共施設の整理統合、そして小中学校の統廃合、課題は山積です。

いかに街を持続させていくのかが問われる中、柳川市は今何をすべきなのか。

箱モノ建設より、子育てと教育に大きな力を注ぐべきです。若い世代の定住化の手厚い支援。起業・新規就農など働く意欲を高める助成制度。高齢者が元気に充実した生活を送れる福祉、激化する自然災害への備えと、市民目線に立った実のある政策に重点を置くべきです。

人口は街の活力のバロメーターです。人と物を呼び込む予算の投資は、税収として形になり、街に活力を与えます。

そして、何より掘割と緑に彩られた景観と歴史文化、この柳川の最大の魅力を次の世代に磨きをかけて引き継いでいかなければなりません。

子供たちの声があちらこちらから聞こえる柳川、これからも住み続けたい、新たに住んでみたいと思える街づくり、市民から負託を受ける議員の使命です。

佐々木創主

●略歴　昭和34年 柳川市大浜町に生まれる　専修大学商学部卒業　衆議院議員公設秘書　柳川市議会議員（５期）

佐々木創主 後援会　〒832-0045 柳川市本町24-4 Tel.0944-72-0631 Fax.0944-32-8535 e-mail: soshu.s@nifty.com http://soshu.la.coocan.jp/

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真に撮ってそのまま印刷したものです。

今村ともこ

即、行動！
あなたの声を届けます！

★子どもの居場所づくり
（子ども食堂の拡充）

★一人り暮らし高齢者への支援

★福祉の相談体制の整備
（心のケアの専門家導入）

★若者の移住促進

★柳川市在住の外国人支援

プロフィール

1965年7月21日	八女市生まれ（57歳）
1984年3月	県立福島高校卒業
1986年3月	長崎外国語短期大学卒業
1986年4月	福岡空港ビルディング（株）入社
1993年12月	福岡空港ビルディング（株）退社
2018年	柳川市議会議員初当選（現1期）

無所属

荒木（あらき）けん

（67歳）

「有言実行」をモットーに働きます!!

①柳川市の『元気』のために

市民の皆さんの生の声を聞き、活力ある明るい・元気な街づくりのために行動します。

②地域産業の『振興』と『雇用確保』のために

水と緑・文化と自然を守りながら、農業・漁業・商工業のバランスのとれた産業振興や安心して働ける企業を誘致するために行動します。

③安心できる『福祉』のために

高齢者や障害者の方々も、安心して共に暮らしていける（バリアフリー等）地域づくりのために行動します。

④心豊かな『教育』や『エコ』のために

個性を生かして、人権を守り、子どもたちが安全で安心して、のびのび明るく学べる環境をつくります。
また、ＬＥＤ、太陽光発電推進のために行動します。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真に撮ってそのまま印刷したものです。

子どもたち、子育て世代、高齢者
全ての世代が笑顔で暮らせるまち
柳川をめざして

甲木（かつき） けんたろう

❶子どもたちの健やかな成長を育む柳川へ
安全の確保と優しく逞しく育つ子どもたちに夢を

❷安心して子育てができる柳川へ
子育て世代の負担軽減と充実した支援

❸高齢者が安心して暮らせる柳川へ
住み心地の良い安全安心なまちへの環境整備

❹商業を活性化し、強い経済の柳川へ
地域の力を最大化・地産地消の推進

❺資源を活用、連動させた観光産業の柳川へ
歩いても自転車でも車でも楽しめるまちづくり

■略歴
昭和51年9月29日柳川市生まれ
柳川幼稚園、柳河小学校、柳城中学校、福大大濠高校、九州産業大学に進むも家業を継ぐため退校、静岡の洋品店にて2年間の丁稚奉公。帰郷後は、婦人服店を経営する傍ら、市内商業活性化を中心に地域活動を積極的に行う。

2015年市内統一ポイントカード会「やなぼ」創立
2019年観光物産館「よかもん館」の建設に携わる
2021年、2022年柳川市立柳河小学校PTA会長
柳川商店街振興組合副理事長
協同組合柳川おもてなしカード会副理事長
柳川市消防団、交通安全指導員

髙田（たかだ） ちづき

ふるさとの明日のため
子どもたちの未来のため

一、市民のための議会運営
二、農・漁・観光・商工業の振興
三、河川・道路・水路・などの環境整備推進
四、青少年の健全育成・スポーツ振興
五、高齢者・社会弱者の福祉充実
六、疑惑のない政治システムの確立
七、矢部川改修早期完成

市議会議員候補

こんどう 末治（すえはる）

私の政治理念は

「誠実・実行」をモットーに!!

永年の行政経験を生かし
公平で公正な政治を推進し
市民生活向上のため活力ある
街づくりに努力します
皆様のご支援をよろしく
お願い申し上げます

わたしの略歴

- 平成7年 柳川市役所 水路課長
- 平成9年 柳川市役所 建設課長
- 平成14年 柳川市役所 都市計画課長
- 平成18年～令和4年（市議4期）
- 現 教育民生常任委員
- 現 柳川みやま土木組合議員

― なせば成る ―
うらかわ和久の決意

年間700人ほどの人口流出、大和町に続いて旧柳川市が過疎地域指定など、
「やながわ再生」まさに今やらねばの状況です。

地域の要望、陳情などの早期実現

・身近な議員として、地域を歩き、小さなことから解決していきます。

安全に居心地の良かまち柳川の実現

・水害、高潮など地域の実情に応じた防災対策
・狭あい等の道路、水路の改善
・子供たちの安全な遊び場の確保
・高齢者スポーツ(グランドゴルフ等)の推進

企業、起業へのさらなる支援

・安定した仕事がある。起業による夢がある。
・Uターン・Iターンの転職支援

農漁業の保護と支援

「ウクライナ危機、異常気象による食料危機、食品値上げへの警鐘がある中」
・柳川の主力産業である一次産業従事者の確保と支援
・地産地消の推進と拡充

有明海海岸道路都市圏の確立

・今後も延伸が期待されている、有明海沿岸道路を中心とした広域的な経済連携、防災・救急医療体制の確立

地域力アップ

【プロフィール】
- 昭和33年生まれ
- 柳川市立矢留小・中学校卒業
- 県立山門高校卒業
- 久留米工業大学 交通機械工学科卒業
- 福岡市消防局 33 年間勤務
- 柳川市議会議員H26～H30
- 矢留本町行政区長
- 保護司
- 防災士

うらかわ和久

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真に撮ってそのまま印刷したものです。

柳川市議候補

やべひろみ

愛する柳川を
愛される柳川に！

一、税金を大切に遣い、住民の声を生かす行政！
一、お年寄りを大切に頭の良い子より心のやさしい子を！
一、目に見える少子化対策を！
一、差別を許さず汗する人が報われる街に！

略歴

一、現ありあけ新世高校卒業
一、柳川郵便局に四十年間勤め退職
一、矢ヶ部小学校PTA会長
一、三橋中学校PTA会長
一、三橋町議会議員二年四ヶ月
一、三橋町長一年八ヶ月
一、現柳川市議会議員四期
一、現花宗・大田土木組合議会議長

公明党公認

菊次（きくつぎ）たまる

49歳

実現しました！

① 全小中学校の特別教室に**エアコンを設置**
② 2倍ほどあった**小中学校の教材費を平準化**
③ 安全対策として**カーブミラー設置**を私道であってもできるよう要綱変更。
④ ペットボトル減量のための**マイボトル運動**を推進し(SDGs)市内３か所の体育館にボトルディスペンサー型の**給水器を設置**
⑤ **高齢者自動車運転免許証自主返納支援**事業（タクシーチケット支給）　2017年
⑥ **コミュニティーバス**の充実　2018年

挑戦します！

◆奨学金返済補助制度の導入
→ 2023（令和5）年度から導入を目指してまいります。

◆企業誘致を推進
→ 市内の雇用創出のため、市内への企業誘致を推進してまいります。

◆放課後の学習支援体制構築を推進
→ 地域や社会全体で子育て支援を推進してまいります。

◆商工振興を推進
→ 地域の活性化を目指し、経済施策の推進や商工業・観光の推進を推し進めてまいります。

元日本経済新聞記者
元立教大学兼任講師

松藤 まさつぐ

変わらん柳川！
変えよう柳川！

私が「外の目線」で目指す「柳川未来ビジョン」

(1) 新型コロナウイルスに負けない

新型コロナ対策に全力を注ぎ、柳川市民をひとりも脱落させないように、雇用や経営、生活などの面でさまざまな施策を実行します。

(2)「過疎」からの脱出、人口減少に歯止めをかける

「過疎新法」により柳川市は2021年度に大和町、22年度は旧柳川市が過疎地域として指定されました。地元企業や農水産業を活性化して若者の雇用確保、他地域からの企業誘致、街中のにぎわい創出による新規雇用の増加、他地域からの移住促進など、あらゆる方面から柳川市の過疎自治体からの脱出を進めます。

(3) 地域インフラと市民サービスを本気で改革

子育て、教育、公共のサービスと施設など柳川を形作るすべてのサービスを見直し、市民目線で本気で改革します。

(4) みんなで稼ぎみんなで儲ける

柳川市が他の都市との競争に負けないためには、市民全員の所得を増やすことが大切。新聞記者で培った経験と知識をフルに活用し、「みんなが稼ぎ、みんなで儲ける」施策を打ち出します。

橋本 のりゆき

46歳 ❷期目への挑戦!!
その声、届けます。

もっと魅力的な街にしたい。

この達成には、何より市民の皆さんが、特に子供たちが故郷柳川のことを大好きで『柳川がいっじゃんよか！』と想うことのできる環境づくりが必須です。先人たちが育んでこられた魅力ある柳川を、次世代を担う子や孫に胸を張りバトンタッチすべく、さまざまな活動を通じ頂いたその声、市政へと届けます。

所属活動団体・役職

三柱神社青年会 三志会
柳川市商工会 理事
柳川市観光協会
藤吉小学校育友会(PTA)顧問
三橋中学校PTA 副会長
山門高校父母教師会 副会長
九州産業大学同窓会 楠柳会支部支部長
山門高校同窓会 理事
柳川保護司会 保護司

日頃の活動は

Instagram facebook

議会において、4年間で13回の様々な分野に対する一般質問を行いました。アーカイブ動画はこちら。

柳川市議会一般質問

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真に撮ってそのまま印刷したものです。

聞く。動く。

子育て支援にも取り組みつつ、
次世代を担う子供たちに
夢と誇りをしっかりと継承できる
柳川づくりに邁進していきます。

たるみ哲也は62才
変わることなく
挑み続けます!

7期28年 言葉より実績。評論より行動。

柳川市議会議員候補

たるみ 哲也（てつや）

これまでに、溢れる行動力で多くの事業を達成!

道の駅への取り組み

市長からは道の駅「有明柳川駅(仮称)」開設を行うという答弁をもらい、現在は実現に向けて関係者の声を聞きながら候補地の調査を行っていることを報告しておきます。柳川活性化のために是非とも実現させたいと思っております。

ペット同伴で避難所へ

少し時間はかかりましたけど、今年の6月からペットと一緒に避難できる専用避難所の開設に至りました。

西鉄蒲池駅周辺整備

安全・安心を最優先に考えた場合、やはり西鉄蒲池駅周辺の整備を行う必要性があると10年以上前から訴え続けていました。そして、福岡県や西鉄、また市役所内部での調整を行い、多くの賛同を得て事業化するに至りました。来年3月には完成予定となっています。その後、歩道も出来る事となっております。
関係者の皆様のご理解とご協力には感謝の言葉しかありません。

蒲池駅ロータリー完成図

柳川庁舎の開庁時間の延長

柳川庁舎の第2木曜日2時間延長(午後7時まで延長)第4日曜日の午前中開庁の実現に至りました。

長年の目標だった学童保育所設置

柳川市内全19校の小学校に設置済みです。

小中学校への空調設備

近年の温暖化も署さに拍車をかけていますし、快適な学びの場として空調設備(エアコン)の完備に取り組みました。

成人式の式典を前日に行う

柳川市では成人式の式典を成人の日の前日に行うとなっています。久しぶりの家族や友人たちとの再会を柳川でゆっくりと過ごせるように・・・・・、そんな思いから実現に至りました。

生涯スポーツの普及

市営住宅跡地にグラウンドゴルフ場を開設を推進しました。

これからも市民の皆様の声に耳を傾けながら、
国や県との強いパイプがある私だからこそやらなければ
ならない、そんな決意で挑み続けます。

聞く!動く!
これを合言葉に頑張ります!

～子育て現役世代の挑戦～

「子どもたちの未来のために!」

力を尽くします。

私は、有明海の沿岸の漁師町に生まれました。子どもの時から干潟で遊び、麦畑の中を走り回りました。好きな景色は、堤防から眺める有明海と、季節ごとに変わる田園地帯です。この風景はこれからも守り続けなければならないと心から思っています。また、柳川は、歴史と伝統ある詩情豊かな文化のまちでもあり、**誇れる私のふるさと**です。

さて、今日本は歴史的転換期を迎えております。コロナウイルスの感染拡大から 3 年目となり、社会全体に深刻な影響がいまだ続いています。今まで当たり前にできていた事ができなくなり生活が一変しました。ただ、この不自由さの中で我慢することを学び、**コミュニティーや協力し合うことの大切さ**を教えられているような気がします。

一方で、人口減少や少子高齢化、財政問題など解決の糸口も見いだせず、山積したままです。国難とも呼ぶべき現状を次世代に引き継ぐわけにはいきません。翻って、我がふるさとのこれからを考えるとき、**子供たちの未来が心配**です。子育て現役世代の私たちは、この現実を看過するわけにはいきません。

未来は子どもたちのものです。未来の子供たちのために何を守り、**何を残し、何を変えてゆくべき**なのか熟考する中で、子育て現役世代の私たちの責任の重さを痛感するに至り、この度、**市政への挑戦**を決意しました。

「明るく元気な柳川」を子どもたちに引き継ぐために、皆様方のご意見を正面から受け止め、若さと情熱で課題解決に向けて**真剣勝負**で頑張ります。

何卒、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

目指す目標

1、明るく元気な柳川づくり

- "子どもは地域の宝"
  家庭・学校・地域の連携強化。
- 個性や特性を尊重できる教育環境の充実。

2、農業・漁業の振興

- 安全安心のブランドづくりと販路の拡大。
- 地産地消の促進

3、住みやすいまちづくり

- 子ども子育て支援の充実
- 地域コミュニティーの充実

4、地場産業の振興

- 大河ドラマ誘致で観光産業の活性化
- 地場産業と商店街と観光の連携

5、誇れる柳川づくり

- 歴史と偉人に学び郷土愛を育む
- 思いやりとあいさつ運動の拡大

椛島（かばしま）しょうご

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真に撮ってそのまま印刷したものです。

日本共産党

かまくら

鎌倉ひろもと

柳川市にやっぱり必要では！ 日本共産党の一議席

① 人口の減る柳川市から増える柳川市へ

若者が住みたくなる魅力ある定住対策を

○給食費無償化や子ども医療費無料化を高校生まで拡大など、子育て支援を充実させます。
○新規住宅取得に対する助成制度を拡充します。
○観光政策は、巨大プロジェクトよりおもてなしの心と人情で観光客を増やします。

② 国保税・介護保険料は一円でも引き下げを

年を重ねても安心して住み続けたいまちを

○「国保税や介護保険料を引き下げてほしい」の声は、市民が望むことのトップです。県下7割以上で繰入を実施。
○市民の声に応えるのが市政の第一の責任です。
○市議会で市民の声を代弁してモノを言い続けます。

③ 小中学校統廃合の市の説明は「人口減だから」

学校が無くなる地域は人口減の悪循環では？

○一度の説明会では説明不足！
○人口を増やす努力が先に尽くされるべきです。「福岡県一の子育て支援のまち」をめざす。
○空き地や空家は市の潜在力、新規住宅地として誘導する政策を。固定資産税の据え置きなど。

④ 佐賀空港へのオスプレイ配備反対

自衛隊基地化は戦争に巻き込まれます

○観光都市柳川にオスプレイは要りません。
○自衛隊基地は日米共同使用化。
○9条を活かし平和外交で戦争を未然に防ぐことが最も肝心です。

日本共産党は、どんなタブーもなく、市民の声を代弁します。

決断と実行！ 佐藤かつひろ

私の思いは地域間格差、差別をなくすことにあります。
私の政治信条は

一、 たとえ頑固と言われ様とも、如何なる政治行政にも、ひたすら一貫性を通したい。

二、 如何なる時も、誰にも「媚びない」「恐れない」強い決意と精神で進みたい。

三、 世の為、人の為、次世代地域の為には これまで学び培った信念を貫き通したい。

四、 政治への不安、不信をなくし、強きをくじき弱者にはよりやさしく、接したい。

五、 地域間の格差を解消し、遅れた社会資本整備に加速をつけて参りたい。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真に撮ってそのまま印刷したものです。

あなたの声を力に。

私は、皆様の代弁者として常に声に
耳を傾け市政繁栄に取り組みます。

※　市政の課題等をより具体的に抽出し
解決策等の調査研究を行います。

※　市民からの要望、提言等を共有し、実現
解決に向けての研究、活動を行います。

※　日頃から条例、議案及び各種計画等を
市民視線に立ったチェックを行います。

江口　よしあき
36歳

住み続けたいまち柳川に！

地方の多くの自治体で人口減少が進む中、柳川市も合併した平成17年3月の7万6千人強から17年余りで6万3千人強へと毎年700人ほどの減少が続いています。柳川市は、人口増に向けての移住・定住の促進策を積極的に取り組んでいますが、進学や就職を機に多くの若年層が流出している現状に歯止めをかけるには至っておりません。

住民が住み続けるには、そして移住者を呼び込むには、まずは住んでいる人にとっての住みやすさや魅力を高めなければなりません。市民の皆様は柳川での暮らしをどう思われているのか。市民の皆様の生活満足度の向上、そして笑顔で暮らせる街づくりに向けて、お一人でも多くの皆様と対話をし、現場の声を一つ一つ市政に届けて参ります。

皆様の代弁者としてのお約束

1. 市民に負担をかけない行財政改革と情報公開
2. 私たちの「食」を支える農業・漁業の振興
3. 雇用を育み若者が住み続けられるまちづくり
4. 災害に強く誰もが安全安心に暮らせるまちづくり
5. 福祉が充実した高齢者に優しいまちづくり
6. 女性が活躍できるまちづくり
7. 柳川の未来を担う子どもが元気なまちづくり

柳川市議会議員候補

荒巻ひでき

プロフィール

昭和39年3月2日生（58歳）
昭代第二小→昭代中（野球部）→伝習館高校（生徒会長・応援指導部）→早稲田大学→
西鉄旅行（海外渡航50ケ国）→柳川市議会議員3期（平成18年10月～平成30年10月）

役職等　・伝習館同窓会評議員（第61回伝習館同窓会総会実行委員長）
・早稲田大学校友会筑後稲門会幹事・柳川城を再建させる会会員・飛龍どろつくどんの会副会長

資　格　中高社会科教員免許・総合旅行業務取扱管理者・宅地建物取引士・ドイツ語検定4級

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真に撮ってそのまま印刷したものです。

柳川市議会議員候補（無所属）

おがた寿光（ひさみつ）

（55歳）

ふるさと再生へ向けて、全身全霊で!!

- 豪雨による水害対策に迅速に取り組む。
- 新型感染症に対する備えを万全にする。
- 雇用の場を確保し、人口減少を緩やかにし、活力ある街にする。
- 質の高い農水産物等の販路拡大を推進し、6次産業化へ取り組む。
- 質の高い滞在型観光へ向けて取り組む。
- 安心安全の街への取り組み、特に通学路の安全確保対策を万全にする。
- さらなる議員定数の削減を含め、行財政改革に取り組む。
- 教育の充実を図る。
- 青少年健全育成に取り組む。
- 企業（起業含む）誘致、「道の駅」整備の推進。
- 「農福連携」の推進。

おがた寿光（ひさみつ）の政策

●緒方寿光プロフィール●
昭和42年1月28日生まれ、柳川市佃町出身。東宮永小学校卒業、柳城中学校卒業、伝習館高校卒業。平成7年の市議選に28才で「市議会議員学減」公約を掲げ初挑戦し、24議席中24位。次点候補と1票差で初当選する。現在6期目、無所属で活動する。
現在役職は議会運営委員会副委員長、総務常任委員会副委員長、議会改革特別委員会副委員長等。

日本維新の会 推薦

柳川市議会議員候補

田中やすのり

私の情熱と行動力で誠意をもって、素晴らしい柳川を、より一層魅力ある町に。

一、若者が定住化しやすい街づくり

一、柳川の風土 歴史 文化を活かし、後世に伝えていく

一、子供は 柳川の宝 地域ぐるみで子育て支援を行う。

一、掘割 川下りコースの美化景観を向上させる。

柳川の基幹産業である農業・漁業のさらなる発展また、河川・堤防の自然災害に対する強化・防災計画の見直しを行い災害のない街を目指します。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真に撮ってそのまま印刷したものです。

三小田（さんこだ）やすひろ

新しいまちづくりを拓（ひら）く。　聞く！走る！

三小田やすひろは全力で取り組んでいきます。

1 **安心・安全**
近年の集中豪雨などの異常気象のより自然災害を受けやすい脆弱個所を見つけ出し自然災害に強い郷土作りを目指します。

2 **漁業**
宝の海、有明海の資源を守ることが重要と考え海苔の養殖業をはじめすべての産業の支援の強化を図ります。

3 **農業**
これからの農業の発展は営農家の特色あるアイデア、活動が重要であると考え農業支援を強力に展開していきます。

4 **観光**
柳川及び地域の観光資源を国内はじめ海外の観光客に様々な企画によりアピールしコロナ感染症などによる影響で落ち込んだ観光収入のＶ字回復を目指します。

5 **住民力による協働のまちづくり**
住民主体、住民参加のまちづくりを推進します。私が目指す柳川市の新しいまちづくりは、地域住民皆様の何気ない一声、市の躍進を願う率直な意見を聞き、住民力を活かした町づくりをめざして行きます。

【三小田 やすひろ 略歴】

昭和46年　大和町塩塚出身(51歳)
昭和62年　大和町中学校卒業
平成 2年　福岡県立山門高校卒業
平成 5年　大洋旅行設立

■地域活動経歴

三橋町商工会青年部
柳川市消防団副団長
大牟田法人会青年部会副部会長
柳川商工会議所議員

令和４年度明るい選挙啓発ポスターコンクール

福岡県選挙管理委員会では、市内の小学生、中学生、高校生の皆さんを対象に、「明るい選挙啓発ポスターコンクール」を開催しています。

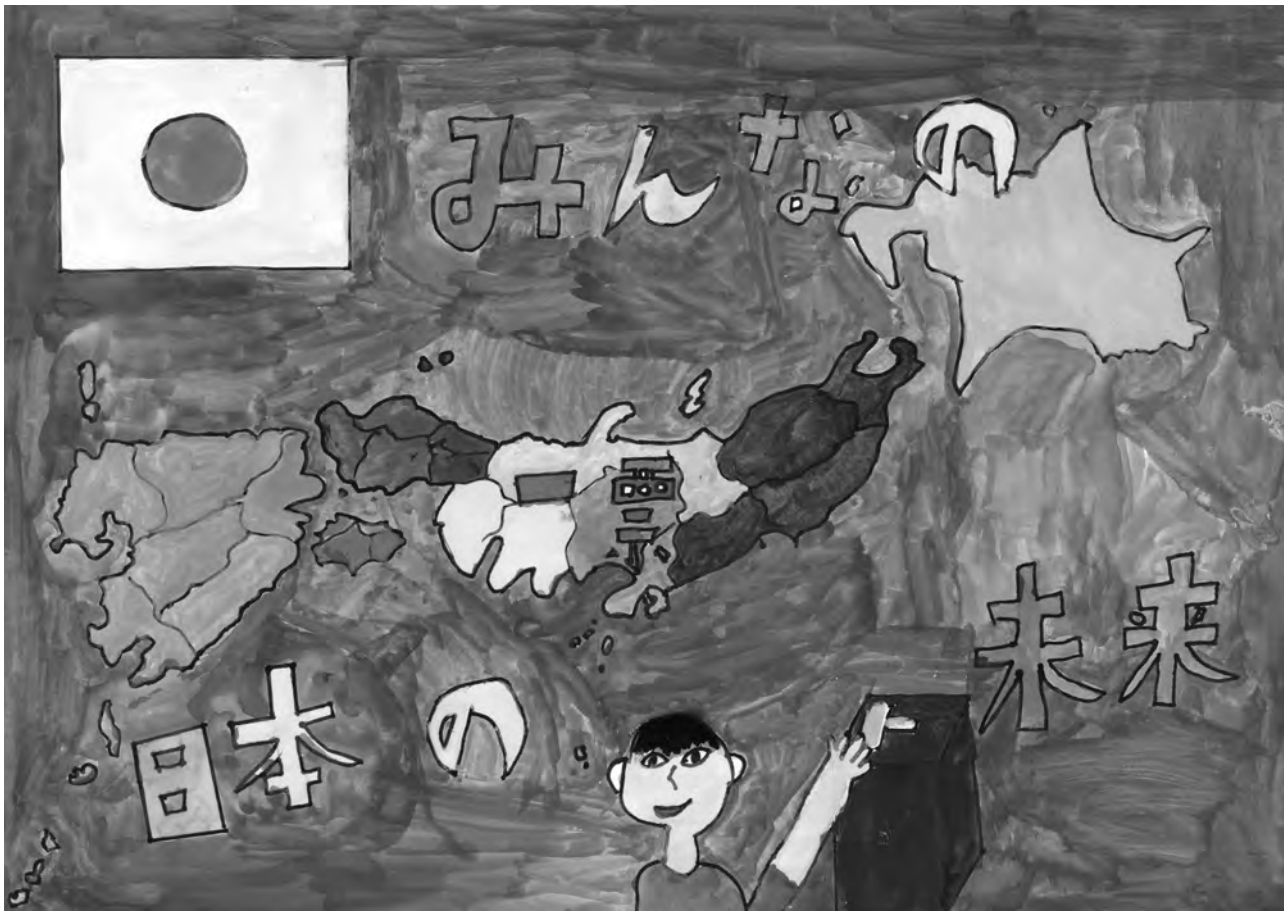
このコンクールは、将来の有権者である児童、生徒の皆さんに、「明るい選挙」を題材としてポスターを描いていただくことで、選挙や政治に関心を持っていただくこと、また、その作品を多くの方に見ていただくことで、有権者の方々に明るい選挙の重要性を感じていただくことを目的として行っています。

柳川市内の小学生、中学生を対象に、

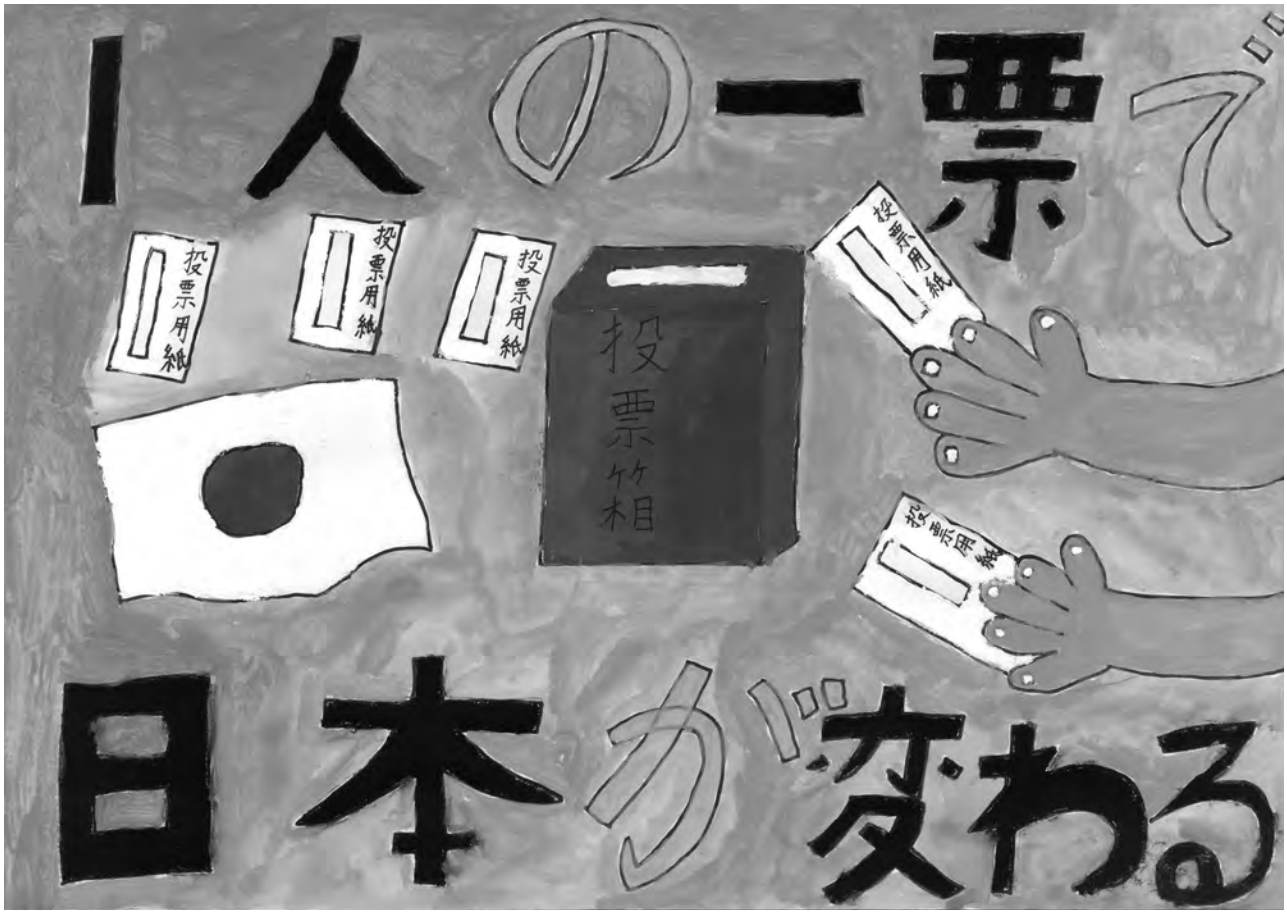
令和４年度に応募いただいた作品の中から、

第１次審査入選作品を掲載しています。

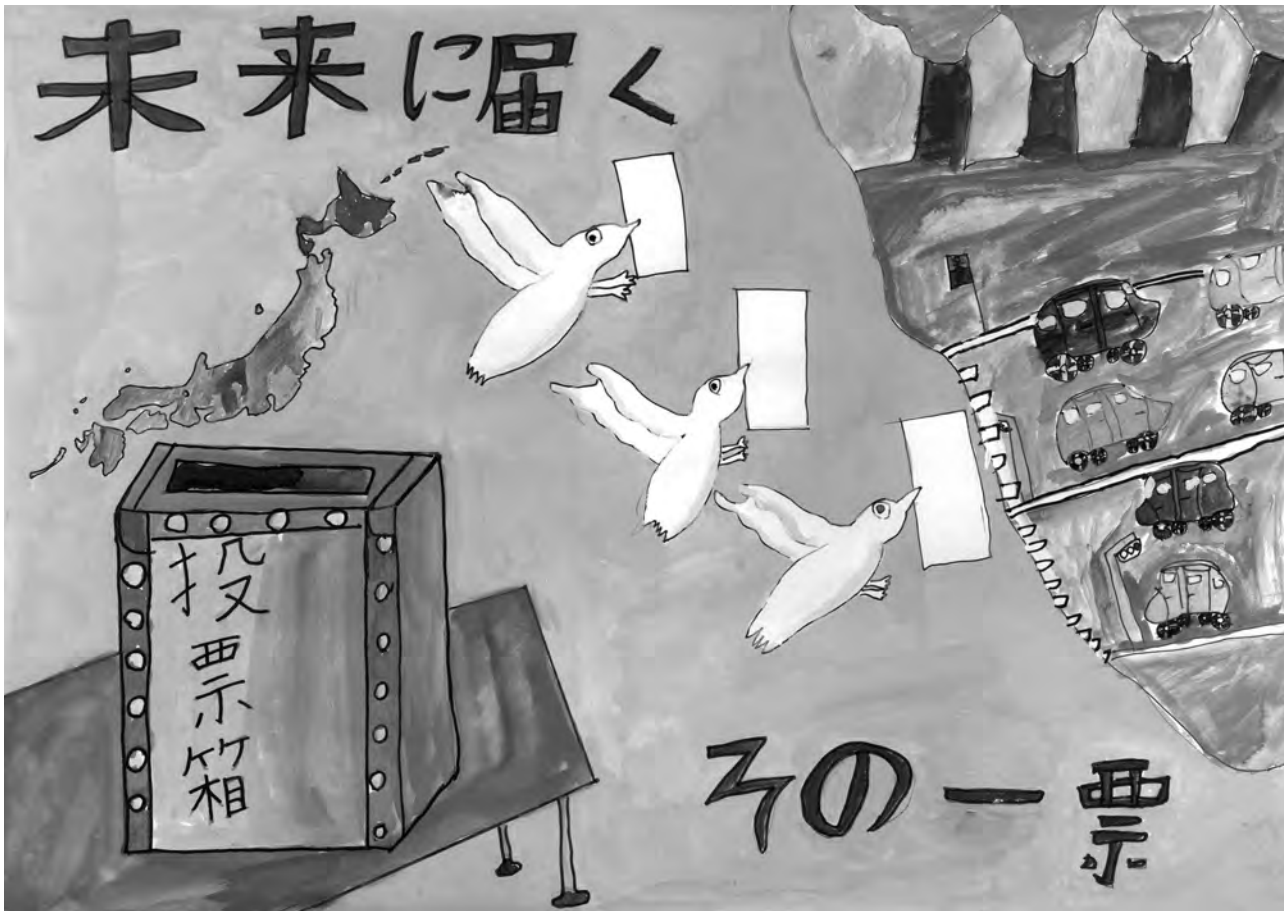
※第１次審査入選作品は、第２次審査（県における審査）に提出します。



柳川市立昭代第一小学校６年　本木（もとき） 愛太（まなた）

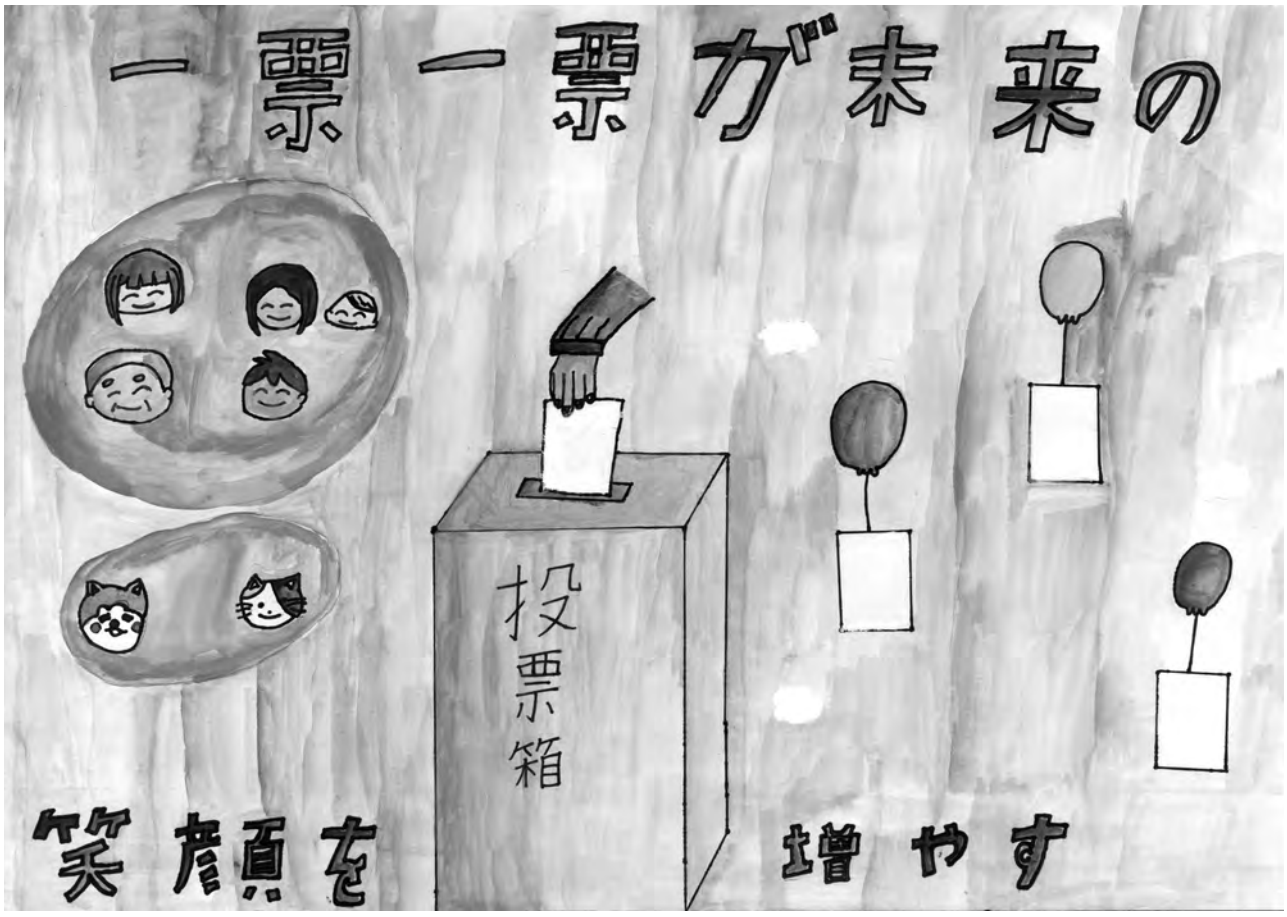


柳川市立昭代第一小学校６年　椛島（かばしま） 奏志朗（そうしろう）



柳川市立皿垣小学校６年　大津（おおつ） 瑠聖（りゅうせい）

柳川市立皿垣小学校６年　大津（おおつ） 優真（ゆうま）



柳川市立皿垣小学校６年　久冨（ひさとみ） 由莉乃（ゆりの）

「選挙」ー 私たち一人ひとりのために

私たちは、家庭や地域、学校や職場など、さまざまな場で暮らしています。私たちの生活や社会をよくするため、私たちの意見を形にする代表者を決めるのが「選挙」です。

選挙権を持っている人は？

１８歳以上の日本国民は、選挙権をもちます。ただし、選挙人名簿に登録されていない人や公民権が停止されている人など一定の要件にあてはまる方は、投票することができません。

！注意！

転入したときに市役所に届出を出していない場合、選挙に投票することができません。お引越しの際は、転入届、転出届、転居届をお忘れなく！

投票所

選挙当日の投票所は、地域ごとに２２箇所設けられています。有権者の方は、**１０月２日（日）午前７時～午後８時**に投票所入場券に書かれている投票所で投票することができます（その他の投票所では、投票することができません）。

投票所名	投票所	所在地
第１投票所	柳河ふれあいセンター	新町 5-2
第２投票所	柳河小学校体育館	恵美須町 28
第３投票所	城内コミュニティ防災センター	本町 53-1
第５投票所	矢留うぶすな館	矢留本町 150
第７投票所	柳川農村環境改善センター	下宮永町 132-1
第８投票所	有明まほろばセンター	有明町 1490
第９投票所	就業改善センター	久々原 126-3
第 10 投票所	就業改善センター	久々原 126-3
第 11 投票所	蒲池農村環境改善センター	矢加部 251-3
第 12 投票所	中村公民館	東蒲池 1279
第 13 投票所	大和コミュニティセンター	大和町明野 426-1
第 14 投票所	柳川市大和漁村センター	大和町中島 385
第 16 投票所	有明コミュニティセンター	大和町皿垣開 560-1
第 17 投票所	皿垣コミュニティセンター	大和町栄 1495-3
第 18 投票所	豊原コミュニティセンター	大和町豊原 138-1
第 19 投票所	六合コミュニティセンター	大和町六合 1677
第 20 投票所	二ツ河コミュニティセンター	三橋町木元 57
第 21 投票所	藤吉コミュニティセンター	三橋町高畑 256
第 22 投票所	垂見コミュニティセンター	三橋町垂見 1583-2
第 23 投票所	矢ケ部コミュニティセンター	三橋町柳河 431-1
第 24 投票所	中山コミュニティセンター	三橋町中山 794-2
第 25 投票所	三橋生涯学習センター講義室	三橋町正行 431-2